

「まじめに」「ひとすじに」逃げろ！アーネストリー

とうとう宝塚記念がやってきた。

宝塚というと、思い出すのはハギノカムイオー、オサイチジョージ、メジロパーマーなど逃げ切った馬ばかり。そして、梅雨時とあって、どろんこの重馬場。一昨年のエイシンデュピティの雨の逃げ切りは、本当に鮮やかだった。

今年の注目は、やはりブエナビスタ。そして、連覇を狙うドリームジャーニー。ほかでは春の天皇賞を快勝したジャガーメイル、昨年のダービー馬ロジユニヴァース。最大の上がり馬アーネストリーなどか。

で、枠順確定後、メンバーを確認して、なにが逃げるのだろうか？と考えたが、確たる逃げ馬は不在だ。

第51回宝塚記念(阪神芝2200m)

1 1	イコピコ 牡4	58.0	岩田康誠
西園正都			
1 2	アーネストリー	牡5	58.0
佐藤哲三	佐々木晶三		
2 3	ネヴァブション	牡7	58.0
後藤浩輝	伊藤正徳		
2 4	スマートギア	牡5	
58.0	和田竜二	佐山優	
3 5	ナムラクレセント	牡5	58.0
小牧太	福島信晴		

3 6	セイウンワンダー	牝4	58.0
	福永祐一 領家政蔵		
4 7	マイネルアンサー	牝6	58.0
	川田将雅 宮本博		
4 8	ブエナビスタ	牝4	
56.0	横山典弘 松田博資		
5 9	ロジュニヴァース	牝4	58.0
	安藤勝己 萩原清		
5 10	ジャガーメール	牝6	58.0
	ウィリアムズ 堀宣行		
6 11	トップカミング	牝4	58.0
	浜中俊 境直行		
6 12	メイショウベルーガ	牝5	56.0
	幸英明 池添兼雄		
7 13	フォゲッタブル	牝4	58.0
	蛸名正義 池江泰郎		
7 14	マキハタサイボーグ	セ8	58.0
	太宰啓介 新川恵		
7 15	(取消)コパノジングー	牝5 58.0	藤岡佑介
	宮徹		
8 16	アクション	牝7	
58.0	藤田伸二 二ノ宮敬宇		
8 17	ナカヤマフェスタ	牝4	58.0
	柴田善臣 二ノ宮敬宇		
8 18	ドリームジャーニー	牝6	58.0
	池添謙一 池江泰寿		

このメンバーでは、逃げる可能性があるのは、やはりロジュニヴァースだろうか？ダービー以来だった日経賞では2番手に控えたが、これといってハナを主張する馬の見当たらない今回は、思い切った逃げの手に出る可能性がある。ただ、騎手が横山でなく安藤だけに確信が持てない。

となると、タップダンスシチーで逃げ切った経験のある佐藤哲のアーネストリーの可能性もある。むしろ、枠順からいって、こちらの方が似げる可能性は高いかもしれない。



ところで、今回は真面目にデータを調べることにし、過去10年の脚質別連対数を見てみると、なんと、逃げ馬の成績はよくない。そのデータは以下のとおりだ。

《過去10年の脚質別成績》

逃げ (2-0-3-6) 18.2%
先行 (2-5-4-26) 18.9%
中団 (6-1-3-41) 13.7%
後方 (0-4-0-36) 10.0%
マクリ (0-0-0-2) 0.0%

つまり、逃げより先行、中団からの差しが圧倒的に有利なのだ。また、阪神重賞に連対実績がある馬がやはり有力だ。今走、出走を予定している馬で阪神重賞に実績があるのは、アクション(09年鳴尾記念G3で1着)、スマートギア(09年鳴尾記念G3で2着)、イコピコ(09年神戸新聞杯G2で1着)、ドリームジャーニー(09年宝塚記念G1で1着)、ブエナビスタ(09年桜花賞G1で1着)、ロジユニヴァース(08年ラジオNIKKEI賞G3で1着)の7頭である。

というわけで、今回の結論は、当然のごとくデータにまったく逆らって、逃げる可能性のある馬で阪神重賞に連対実績のないアーネストリーということになる。

アーネストリー(earnestly)とは、「まじめに」「ひとすじに」「熱心に」「真剣に」などという意味だ。となれば、どうか「まじめに」「ひとすじに」逃げ切ってほしい。で、アーネストリーの単勝。次にアーネストリー頭の馬単で、相手は、当然、人気薄から選び、イコピコ、ナカヤマフェスタ、フォゲッタブル、トップカミング。それに、ネヴァブション、ジャヤガーマイル、ブエナビスタの人気馬も抑えておく。